

CCShare申請手順・注意事項

目次

- CCShareの概要
- CCShare利用申請手順
 - 申請フォームの入力
 - 審査の流れ
- CCShare利用上の注意事項

1. CCShareの概要

CCShareは、計算科学研究センターが提供するスパコン利用者向けオンラインストレージサービスです。

アカウントは1グループにつき1つで、1TBのストレージ容量を研究データの共有、共同作業のためにご利用いただけます。

岡崎3機関の研究グループの皆様も利用可能です。

ウェブブラウザを通じて、簡単にデータのアップロードやダウンロードができるのが特徴です。

CCShareは、スパコンと同じディスクシステム上にデータを保持するため、スパコン上のバックアップとしての利用には適しません。単にデータの保管場所が必要な場合は、まず[ディスク容量の追加申請](#)をご検討ください。

CCShareは、以下のような利用目的に適しています：

- チーム内や、CCShareユーザー同士のファイル共有
- データの公開

2. CCShare利用申請手順

CCShareを利用するためには、事前に申請が必要です。以下の手順に従って申請を行ってください。

PIに了承をとっていればPI以外の方が申請することも可能です。

申請フォームの入力

1. 申請フォームにアクセス：[CCShareの申請フォーム](#)にアクセスします。
2. 必要事項の入力：申請者情報、利用目的などの必要事項を入力します。
3. 申請の送信：入力内容を確認し、申請フォームを送信します。
4. 受付確認：申請が正常に受理されると、受付確認のメールが送信されます。
確認メールが届かない場合は、お問い合わせください。

審査の流れ

1. 審査：当センターの利用実績や、提出された利用目的などをもとに審査を行います。
2. 審査結果の通知：審査が完了すると、審査結果がメールで通知されます。承認された場合、アカウント作成完了の案内

3. CCShare利用上の注意事項

(6/18更新)

注意事項は追加・変更される可能性がございます。

ユーザーの責任

- ・ユーザーは自身のアップロードしたデータの適法性および内容について一切の責任を負うものとします。
 - ・ユーザーは、違法、有害、公序良俗に反するコンテンツをアップロードしてはなりません。

アカウントについて

- ???
 - ??????????????????????????1?????????????????????

データの取り扱い

データ容量制限

メンテナンス

スペコンのメンテナンス中はCCShareにアクセスができませんのでご了承ください。

メンテナンス予定については下記URLをご覧ください。

<https://ccportal.ims.ac.jp/maintenance>

セキュリティ対策

- ・強固なパスワードを設定し、可能な場合は二要素認証を設定し、セキュリティを強化してください。

知的財産権

免責事項

- 当センターは、本サービスの利用に関してユーザーに生じた損害について、一切の責任を負いません。
 - 当センターは、ユーザーがアップロードしたデータの消失、漏洩等の事故が発生した場合でも、一切の責任を負いません。